



研修医日記

作成者：福嶋 学（1年次）

こんにちは、1年目研修医の福嶋です。気がつけばもう10月、4月から研修を始めて間もなく半年を過ぎようとしています。

4月から消化器外科を3ヶ月、整形外科を1ヶ月、泌尿器科を1ヶ月、そして今は麻酔科で研修をしています。麻酔科では、主に患者さんの術前の状態把握と術中の気管挿管や全身管理を中心に勉強させていただいております。当たり前ですが、国家試験の勉強だと「挿管する」「血圧を上げる」で終わりますが、研修医としてはそれらを「どのくらいの量・程度」で「どのようにするか」を学ぶ必要があります。一つ一つの手技・行動をする際に「どうしてそうするのか」を聞かれ、なんとなくではなくしっかり論理立てて行動することの大切さを教わっています。麻酔科も残りあと一週間、しっかり学んでいきたいと思えます。

また、この半年で救急外来の当直・日直はまだまだしっかり出来ているとはいえませんが、それでも研修始めより診察検査などは以前よりもスムーズになってきたような気がします。上級医の先生もしっかりと見守り・確認してくれるため、とても良い勉強・経験になっています。もっとしっかり出来るようこれからも頑張っていきます。

写真は院外研修で行った仏ヶ浦で撮った写真です。岩の形が特徴的で曇り空であるにもかかわらず、海はとても澄んでいて綺麗でした。



※日記の作成日と当ページへの掲載日は異なる場合があります。